

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用中のお子さんの人数に合わせてスペースを区切り、お子さんと 1 対 1 で支援を行っている。また、活動内容によって、どのスペースを使用するかを検討している。定員は適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			指導員は 5 名体制であり、法令に則った職員配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			教室入口外にスロープを設置し、段差を解消した。室内はバリアフリー化されているものの、さらに使いやすい環境になるよう、今後も検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に話し合いを行っている。それぞれの職員が、積極的に業務改善に取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本年も 11 月から 12 月にかけてすべての保護者の方に事業所評価をお願いした。評価結果を受け、改善できるところから取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果は、2 月中旬に教室のホームページに公開予定である。取り組みの成果については、ブログや LINE 一斉送信等でお知らせしていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による評価については、今後の検討課題である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			発達支援研究所や地域の様々な機関の研修への参加に加え、教室内での虐待防止研修も行っている。今後も全員が積極的に参加できるよう、研修の紹介や研修時間の確保を行っていく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎年、2 月から 3 月にかけて、再度すべての利用児のアセスメントを行い、新年度に向けアセスメント情報を更新している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全教室で共通に活用しているアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎回の支援内容やその日のお子さんの様子などについて、全員で情報交換を行いながらプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			そのお子さんの成長や困り感に応じた支援内容を組み立てることができるよう、全員で情報交換を行いながらプログラムを作成することで固定化を防いでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休みは宿題に取り組む時間を長めにしたり、学校の課題の作品作りに時間を多めに割いたりするなど、細やかな対応を心がけている。

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	コロナ禍の中、集団活動を自粛してきたため、個別活動中心の支援計画を作成してきた。今後の感染状況を見ながら、集団活動を組み込んだ支援計画も検討していく。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝、職員打ち合わせ会を行い、その中で、支援予定や役割分担の確認、お子さんの支援内容についての情報交換を行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	その日のうちに共有すべき事項については終了後に連絡しあっている。時間をかけて話し合う必要がある内容は、支援開始前の朝礼で確認している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回、支援記録を丁寧にとっている。次の支援担当者がその記録を読んで支援計画を立案したり、話し合いを行ったりすることで、支援の検証と改善を行っている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者の方から6か月に1回以上、計画についてのご意見を伺い、見直しに努めている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		ガイドラインを基に基本活動を複数組み合わせ、保護者の方からいただいた情報やお子さんの支援中の様子などを考慮しながら支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者と指導員が分担、協力して会議に出席し、全職員の意見をまとめた内容を発表している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者の方やお子さんに加え、各学校の教職員とも頻りに連絡を取り合いながら情報共有や連絡調整を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				（今年度、医療的ケアが必要なお子さんの支援は行っていない。必要に応じて関連機関と連携しながら取り組んでいく。）
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者の方から直接情報を伺うことに加え、必要に応じて、在籍していた園や事業所との間で情報共有を行い、相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後の生活に関連する内容やそれまでの支援内容等について、保護者の方との相談時や支援会議の際に情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関とはいつでも連絡がとれる体制をとっており、多くの助言をいただいている。専門機関での研修に積極的に参加し、研修の成果を全員で共有していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童館等との交流や、障害のないお子さんと活動する機会は設けていない。今後、必要に応じて交流する機会を考えていく。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			長野市で行われているこども部会等の協議会には毎回参加している。	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後の振り返りの時間や個別での相談時に、支援内容をお伝えするだけでなく、お子さんの様子を伺うことで、共通理解を図っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングは行っておらず、専門機関を紹介するにとどめた。保護者の方に役立てていただけたようなプログラムを積極的に紹介していく。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や初めての請求時に、できるだけわかりやすくお伝えするよう心掛けている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			困りごとを気楽に話していただけるよう、相談しやすい雰囲気作りを心がけている。職員間でも話し合い、適切な助言と支援ができるよう努めている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は保護者交流会や講演会を計4回実施した。保護者の方同士が会場でも連携を深められるよう、内容や運営方法を検討している。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付体制を整備し、契約時に説明を行っている。申し入れがあった場合には、すぐに全員で情報共有し、担当者を決め、相談と対応のための日程調整を行っている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は発行していない。印刷物やブログ、LINE一斉送信で情報を発信してきた。Instagramによる発信も開始した。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する同意書や社内ルールに基づき、書類の保管、データの取り扱いなどに細心の注意を払っている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			様々な道具や伝達手段を使いながら、お子さんに伝わりやすい方法を探ってきた。保護者の方とは、直接お話することに加え、LINEなどで頻繁にやり取りをしてきた。今後も丁寧な対応を心がけていく。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍のため、地域の方を招待する機会は設けてこなかった。地域の方を講師に迎えての保護者交流会は実施した。今後も地域との交流を図っていく。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			左記のマニュアルはすべて策定されており、職員全員で確認している。ポスターなどで室内の見やすい場所にも掲示している。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員は毎月、災害に備えての訓練を実施している。保護者の方を交えての防災訓練も実施した。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部での研修受講に加え、教室内でも全員参加の研修を行っている。今後も研修に積極的に参加して様々な事例を学ぶことで、虐待を見抜く目を養っていく。通報しやすい環境も整えていく。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			社内マニュアルに基づき対応しており、放課後等デイサービス計画にも記載している。今後も身体拘束が許される場面や条件等についての研修を受け、全員が適切な判断を下すことができるようにする。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/	(食事やおやつを提供は行っていないため、特段の対応は取っていない。アレルギーについての報告は、支援会議などで受けている。)
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成し、過去の記録を保管している。事案が発生した場合は、全員で迅速に情報共有をおこなっている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校 保護者等数（児童数）： 57 回収数： 43 割合： 75 %

※：保護者の方からのご意見 ○：ご意見を踏まえた対応

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	8	0	※少し狭いかなと感じます。 ※もう少し広いと更に良いと思いますが、学習スペースは問題ないと思います。 ○体を動かす活動を行いたい場合、手狭であることは大変申し訳なく思っています。活動内容によってパーティションを移動する、教室全体のレイアウトを変更するなど、対応してまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	36	6	1	※専門的なところまでは・・・まだ日が浅いので。 ※指導員さんの個々の専門性がどういものなのかわからないので教えてほしい。 ○職員の専門性についてお知らせする機会を設ける計画を立てています。令和4年度中には具体的な方法をお知らせする予定です。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	28	13	2	○スロープを設置したことにより教室外の段差を解消しました。室内の設備については、さらに配慮ができないか、検討していきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	41	2	0	※プリントをやる前に補助的な内容をやっていただくことがあり、理解の助けになると思うのでありがたい。 ※興味を持って活動させていただけるようになるように今後に期待します。 ○お子さんの困り感や保護者の方のニーズに合った支援ができるよう、計画の作成や見直し、支援内容の検討を行っていきます。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	34	9	0	※毎回声をかけていただいたり、いろんなパターンに取り組ませていただいたりしてありがたい。 ※成長の段階やその時の子どもの様子に合わせてプログラムが組まれていて、遊びにも真剣に向き合ってくださいます。 ○いろいろな内容を取り入れることで固定化しないよう努めています。これからもお子さんの成長に合わせたプログラム作りに励んでいきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	26	15	※特に必要としていない。 ※1時間の中で交流する時間が取れないと思います。休日にこどもの交流会で、ポッチャやモルックなどできるとよいかと思います。

					○1 時間という限られた時間に、教室内という限定された場所で活動を行っているため、左記のような活動を組むのは難しくなります。ただ、ボッチャやモルックなどを使うことで、同じ時間の他のお子さんと触れ合う機会ができるので、今後も活用していきます。	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	42	1	0	※わからないこと、困っていることに対して話を聞いて下さり、課題の共通理解ができているので、一人で子育てをしているといったような孤独感がなくなった。先生方のお話も聞けて、子育てに生かしていきたい。 ※子どもの相談をさせていただき、ご理解、ご支援いただき感謝しております。 ○あたたかいお言葉をいただいたことに感謝しております。今後も話しやすい雰囲気づくりに心がけ、共通理解を深めることができるよう努めています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	41	1	1	※学校でのこと、他のお子さんとのこと、保護者や本人の困りごとについても、迅速、丁寧に対応して下さいました。 ※育児に関する助言をいただき、大変ありがたく、助かっております。 ○保護者の方にお伝えした内容が適切だったかどうか、職員間でも相談しています。私たちも学習や経験を積み、適切な助言等の支援ができるよう、努めています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	40	1	1	※利用したことがないのでわかりません。 ※子どもに必死になっている保護者が多いので、親自身がリラックスできる会があればよいと思う。 ※保護者交流会、お勉強会で専門家の先生のお話や先輩保護者さんのお話が聞けます。質問もできます。 ※会が平日が多く、都合が合わず、出席できていないのでわかりません。 ※保護者会開催で保護者の方と接する機会をいただいております。 ※参加するのが苦手なので、どういことを話し合っているのか気になっている。まとめた内容のプリントとかが欲しい。 ※無回答 1 件あり。 ○多くの皆様にご参加いただいていることに感謝申し上げます。実施する曜日や時間、内容については、いただいたご意見を参考にしながら再検討していきます。内容の報告についても、ブログなどを使った発信を積極的に行っていきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36	6	0	※まだそのような状況になったことがないのでわかりません。

					<p>※わからないことやお願いしたいことがあった場合、その旨お話しすると、わかりやすい説明をしてくださり、素早く適切に対応して下さいます。</p> <p>※苦情はありません。</p> <p>※無回答 1 件あり。</p> <p>○体制は整備しています。苦情を気軽に安心して伝えることができるような教室であり続けるよう、努めていきます。</p>	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	2	1	<p>※指導員さんとの会話が他の保護者にも丸聞こえで話しにくいことがある。</p> <p>※相談しやすい、話しかけやすい雰囲気があって、いつもありがたいです。</p> <p>○相談スペースが狭いためにご迷惑をおかけしていることをお詫びします。事業所内相談支援の活用、使っていない支援スペースを使っての振り返りなど、他の方に話し声が聞こえにくい状況でお話ができるよう、配慮してまいります。</p>
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	43	0	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	42	1	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	41	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	9	1	<p>※無回答 1 件あり。</p> <p>○職員は毎月、防災訓練を行っています。保護者の方に参加いただく訓練も実施しました。非常災害に迅速、適切な対応を行うことができるよう、これからも訓練を行っていきます。</p>
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	37	6	0	<p>※いつも楽しみに向かわせてもらっています。ありがとうございます。</p> <p>※楽しみにしており、帰る時にはニコニコしていたり、落ち着いていたりします。</p> <p>※いつも楽しいと言っています。</p> <p>※今後、通所が楽しみになるように期待しております。</p> <p>※いつもとても楽しんでます。ありがとうございます。</p> <p>○すべてのお子さまにとって、楽しく活動する中に願う力を伸ばすための要素が入っている、そんな支援を今後も目指していきます。</p>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	37	6	0	<p>※学校の下校時間などで仕方ないことと思いますが、きらりに遅れた時に子どもが時間が短かったと話しています。難しいことと思いますが、30分くらいずらした時間帯など今後ご検討いただけると助かります。</p> <p>※大変満足しております。</p>

				<p>※楽しめる場所なので、とても良い機会だと思えます。</p> <p>※とても丁寧に教えていただき、大変ありがとうございます。</p> <p>※満足しております。いつも感謝しております。</p> <p>○ご指摘いただいた、遅れて来校された場合に支援時間を後ろにずらすことは、次の時間に他のお子さんの支援が入っていることが多いため、なかなか難しいのが現状です。しかし、振り返りの時間での報告をLINE や電話で行うことで支援時間を確保するなどの対応を行うことは可能です。保護者の方と相談して考えていきます。</p>
--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------